

印西高第316号
平成28年7月12日

印西市情報公開・個人情報保護審査会 会長 様

印西市長 板倉 正直



地域包括支援センターシステムの通信回線（オンライン）結合による
実施機関以外のものへの個人情報の提供について（諮問）

標記の件につきまして、当市では、平成29年4月1日より地域包括支援センター業務の委託化を予定しており、業務引き継ぎについては平成29年2月1日からを予定しております。

また委託後に、地域包括支援センターの業務である「総合相談業務」「権利擁護業務」「介護予防ケアマネジメント業務」を円滑に実施するため、オンライン結合による実施機関以外のものへの個人情報の提供を予定しております。

つきましては、印西市個人情報保護条例第9条第3項第2号の規定により意見を求めます。

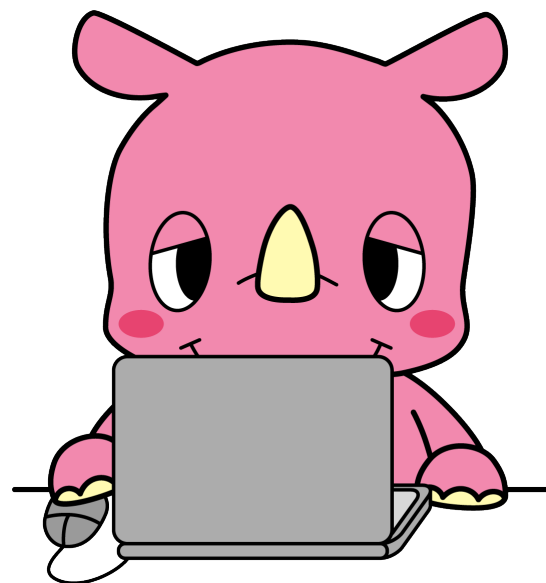
【 担当 】

高齢者福祉課 印西地域包括支援センター
山田（内線：274）

地域包括支援センターネットワーク システムについて

平成28年6月 日

印西市役所 高齢者福祉課



1.地域包括支援センターの業務

「地域包括支援センター」とは、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活が送れるように、介護・福祉・保健・医療などさまざまな面で相談を受け、支援を行う機関。

* 総合相談・支援

- ・ 高齢者などからの介護や福祉に関する相談への対応・支援

* 介護予防ケアマネジメント

- ・ 介護予防ケアプランの作成、介護予防事業の支援

* 権利擁護

- ・ 高齢者虐待防止など、高齢者の権利を守るための支援

* 包括的・継続的ケアマネジメント

- ・ ケアマネジャーの支援やネットワーク作り

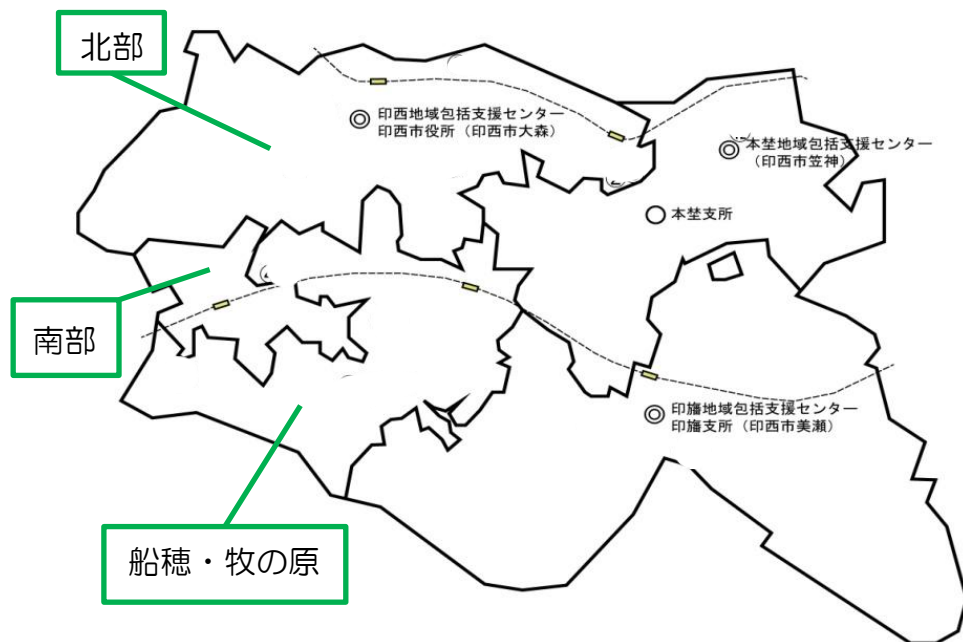
* その他

- ・ 認知症に関すること、医療と介護の連携推進に関すること



印西市では、身近な地域できめ細やかなサービスが受けられるよう、日常生活圏域を以下の5ヶ所に定めて、サービス整備や地域のネットワーク作りを進めることとしている。

現在は3ヶ所の地域包括支援センターが設置されているが、平成29年度からの委託化に伴い、各圏域（5ヶ所）に地域包括支援センターを配置し、住民の相談・支援をしていく予定である。



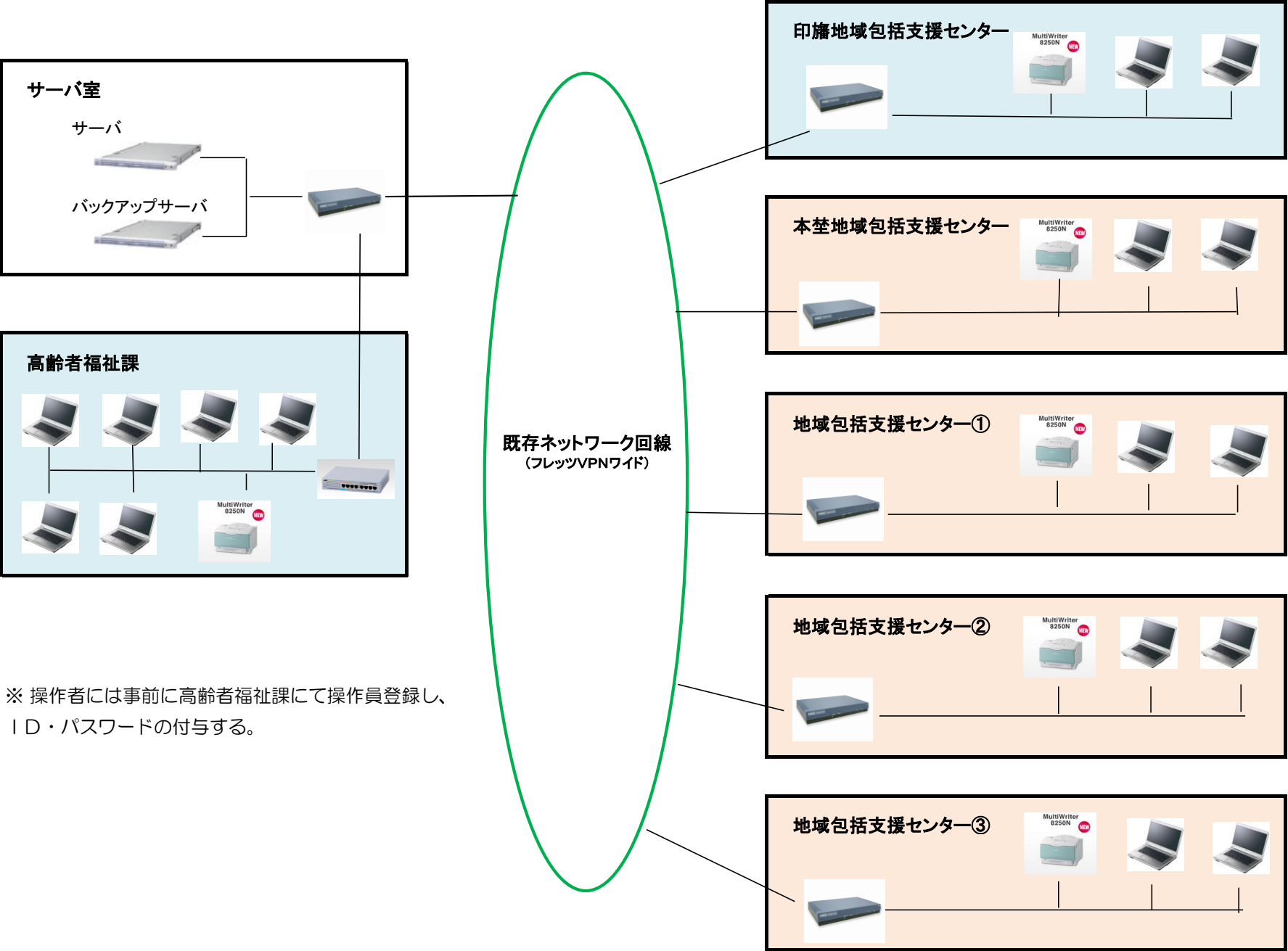
※H29年からは、現行、
印西包括が担当している
圏域を3ヶ所にわけると。
(船穂・牧の原、北部
南部)

2. 提供する情報について

地域包括支援センター業務である、「高齢者の総合相談」「権利擁護」「介護予防ケアマネジメント」業務を円滑に遂行するため、高齢者福祉課から各地域包括支援センターに、以下の情報を提供します。

情報提供の対象者	・65歳以上の印西市民及び要支援認定者に関する情報	
提供する情報	基本的事項	*氏名、性別、生年月日・年齢、住所、電話番号
	心身の状況	*健康状態、既往歴、心身の障害の状況、主治医、かかりつけ医療機関、要介護度
	家庭の状況	*家族状況、婚姻歴、親族状況、居住状況
	生活の状況	*職業・職歴、学歴、その他の経歴、免許・資格 趣味、財産・収入、公的扶助
	サービス利用状況	*介護保険、高齢者福祉サービス、その他サービス *サービス利用にかかる支援経過
	その他	*相談歴（虐待等 権利擁護に関する相談含む） *相談に対する対応・支援経過

3.地域包括支援センターシステム ネットワーク図



※ 操作者には事前に高齢者福祉課にて操作員登録し、ID・パスワードの付与する。

平成29年1月開設予定

4. 地域包括支援センターネットワークシステム導入による効果

◆情報共有が可能となり、統一的な対応が可能となる

- ・地域包括支援センターシステムの高齢者台帳には、これまでに受けた相談に対する対応や、実態把握調査結果などが記録されている。

これをオンライン結合することにより、高齢者福祉課と各圏域（5圏域）の地域包括支援センターで情報共有が図れ、圏域を超えての相談に継続的・統一的な対応が可能となる。

◆緊急時に迅速な対応が図れる

- ・警察や医療機関などからの照会を対象者の圏域が不明な場合もあるが、地域包括支援センターシステムの氏名検索機能を使うことで過去の相談歴や、親族状況を確認することができる。

オンライン結合することで、高齢者福祉課や圏域外の地域包括支援センターに連絡があっても、迅速に対応することが可能となる。

参考 : H27年度中の警察からの相談…51件、医療機関からの相談…76件

◆データの一元管理

- ・情報をリアルタイムで共有することができ、一元化が図れる

◆情報漏えいリスクの低減

- ・オンラインで情報共有することができるので、従来の様なFAXや紙媒体での情報授受をする必要がなく、情報漏えいのリスクが低減できる。

◆セキュリティの強化

- ・フレッツVPNワイドによるネットワーク接続をするが、フレッツVPNワイドはインターネットには接続しない回線で、特定の拠点のみと接続するためセキュリティ面の強化を図れる。

さらにICカードとID・パスワードによる二要素認証を取り入れる事でより強固なセキュリティを実現することができる。

